

2/20 院内集会

エネルギー・環境「国民的議論」の意味

安倍政権は、民主党政権下で閣議決定された「革新的エネルギー環境戦略」の原発ゼロ方針をゼロベースで見直すと表明、エネルギー基本計画の見直しについても、これまで議論を重ねてきた基本問題委員会ではなく、新たな枠組みをつくるとしています。

しかし、2012年夏の「国民的議論」では、さまざまな手法で市民の意見の集約が試みられ、「少なくとも国民の過半が原発ゼロを望む」とまとめられました。特に、パブリックコメントでは、総数8万9000件以上のうち9割近くが、「原発ゼロ」を選択しました。これらの結果にもかかわらず「ゼロベースでの見直し」は、はたして国民の声を受け止めていると言えるのでしょうか？

今改めてエネルギー・環境に関する「国民的議論」の意味を問い、今後の課題を共有します。

- 日時： 2月20日(水)
11:00 ~ 13:00

- 場所： 衆議院第二議員会館
多目的会議室

(最寄:永田町駅、国会議事堂前駅)



内容

1. 「国民的議論」の経緯と結果
伊原智人氏 (元国家戦略室)
2. 「国民的議論」に国民の声は反映されたか？
三上直之氏 (北海道大学 高等教育推進機構 高等教育研究部 生涯学習計画研究部門 准教授)
3. 「パブコメで未来を変えよう」キャンペーンと自主的意見聴取会
吉田明子 (eシフト/国際環境 NGO FoE Japan)
4. 市民の声の政策への反映
小島敏郎氏 (元環境省)
5. 国会内での動き
阿部知子氏 (国会エネルギー調査会準備会) 予定
6. パネル形式で質疑応答

資料代: 500円

主催: eシフト(脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会)

問合せ: eシフト(脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会) <http://e-shift.org>

Tel: 03-6907-7217 Fax: 03-6907-7219 Email: info@e-shift.org